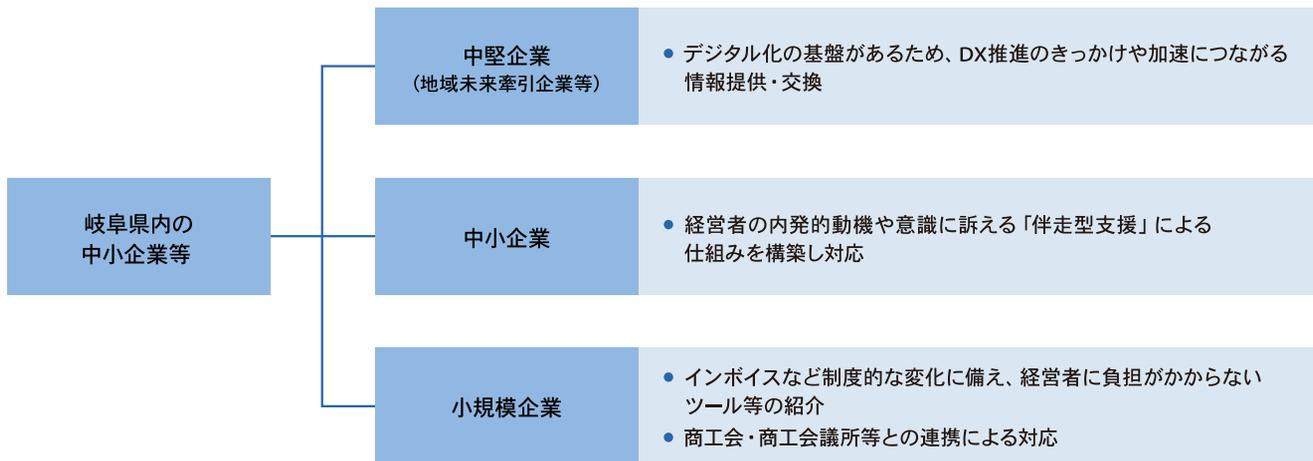


公益財団法人ソフトピアジャパンが「DX推進」を応援する対象企業



中小企業に対する「伴走型支援」を取り巻く社会的背景とソフトピアジャパンでの取り組み

伴走支援の在り方検討会『中小企業伴走支援モデルの再構築について』（令和4年3月15日）では、従来の伴走支援は補助金など政府等の支援ツールを届ける課題「解決」型に力点が置かれてきた傾向があったが、不確実性の時代では「経営力そのもの」が問われるため、そもそも何を課題として認識・把握するかという課題「設定」型の伴走支援の重要性が増すと指摘。

そこでは、対話と傾聴を重視する「経営力再構築伴走支援モデル」が提唱され、経営者との対話を通じた信頼の醸成、経営者にとっての本質的課題の掘り下げが重要であり、これが経営者の腹落ちに繋がり、内発的動機づけが得られるとしている。一方で、その先の課題解決に繋げていくことも重要であり、課題設定と解決を行ったり来たりしながら、経営者の自己変革力、潜在力を引き出し、経営力を強化・再構築をするモデルであるといえる。

ソフトピアジャパンでは、同様の考え方に基づき伴走型支援を展開しているが、平成29年度以降に実施した「スマートものづくり応援隊※事業」（経済産業省 補助事業）を契機とし、次頁以降に示す独自のモデルを構築・進化させてきた。

※現在は、「スマート経営応援隊事業」（岐阜県で予算化）として継続。



ソフトピアジャパン (SJ) 「スマート経営応援隊」による伴走型支援の特徴

1 SJ職員が積極的に関与

SJ 職員が主体的に取り組み、専門家や他の支援機関と連携をしながら、全ての段階において積極的に関与。



2 SJ職員が専門性を発揮

SJ 職員は、IT・IoTなどのデジタル技術、コーディネートなどそれぞれの専門性を発揮し、課題解決に貢献。



3 あらゆる段階に対応可能

専門家（令和4年度時点 約70名登録）は、ソフトウェア、IoTシステム、設備、センサーなど技術系から、改善コンサル、ITコーディネータまで幅広く、データ収集、見える化、活用・分析、改善・変革といったあらゆる段階に対応可能。

4 現役のノウハウを活用

専門家の中には一線で活躍するIT企業等の現役の経営者・従業員も含まれ、効果的な提案と導入につながるケースが多い。



5 複数年に渡る支援

補助金の申請や、導入後のシステム活用・現場改善・経営支援にも関与するため、複数年度にまたがるケースが多い。



6 DXの地産地消を推進

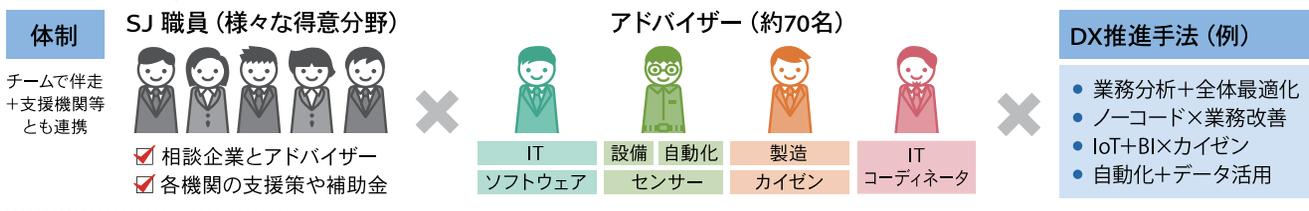
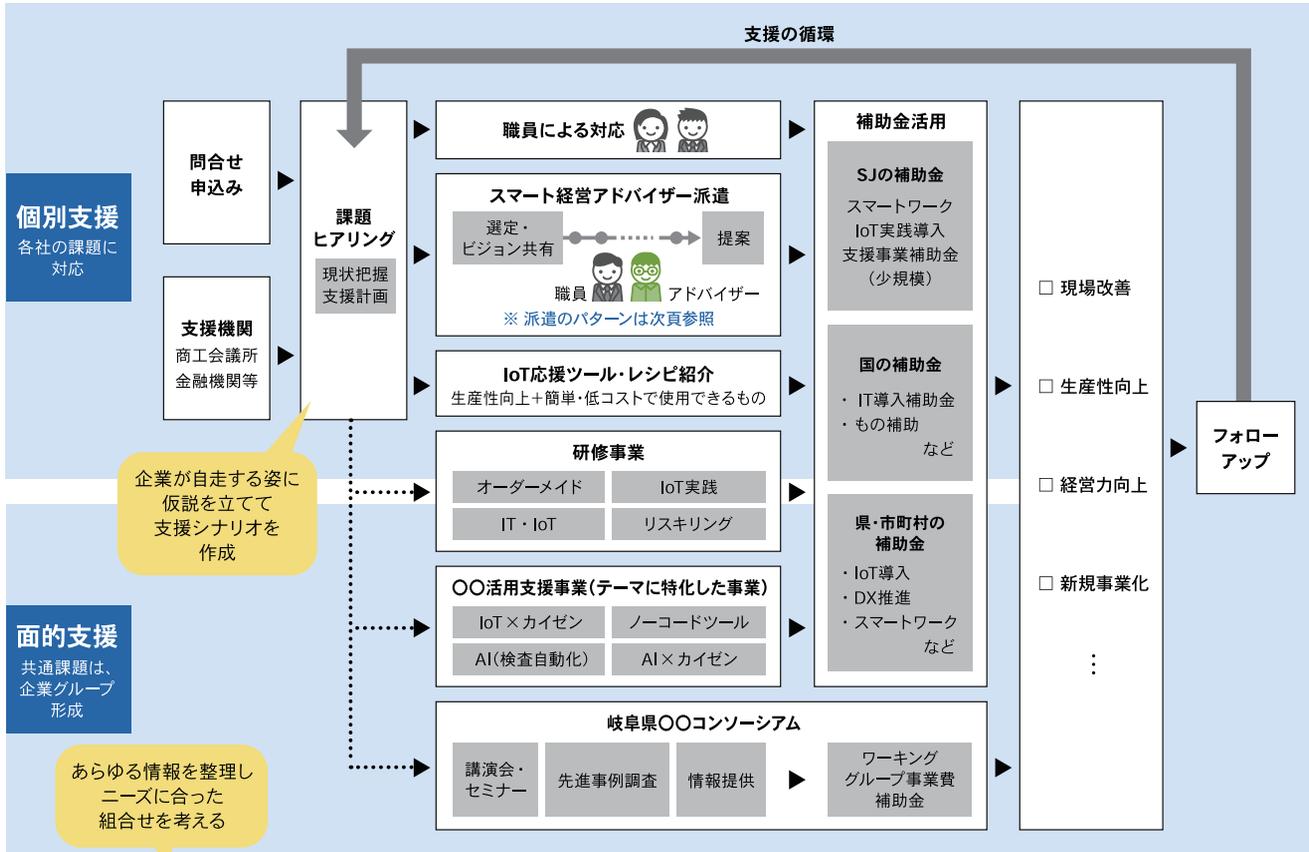
SJ エリアをはじめ、岐阜県内の IT 企業とともに課題解決に取り組むケースも多くあり、DX の地産地消を推進。



ソフトピアジャパン (SJ) 「身の丈に合ったDX」 推進のための伴走型支援



- 自らDXに取り組む企業に対して、足りないリソースを補いながら各社の推進チームを伴走型で支援
- 各段階において、最適な支援方法を採用し、現場を巻き込みながら自走までを支援
- 企業が自走する姿に仮説を立て、それに向けて作成した支援のシナリオに沿って伴走することを繰り返す



対応できないものもあります × 企業側の問題(体制など) × 研究要素の強いもの × 制度になじまないもの

■ 上記の伴走型支援を構成する支援メニュー

スマートワーク IoT 実践導入支援事業補助金
(公益財団法人ソフトピアジャパン)

ソフトピアジャパンの専門家派遣事業等を活用して IoT や AI 活用、ロボット導入等による現場改善等に取り組む企業に対して、システム・機器導入に要する経費の一部を補助します。

岐阜県 IoT コンソーシアム ※名称等変更の可能性があります。
(事務局：公益財団法人ソフトピアジャパン)

産学官連携のもと、県内企業が主体的にIoT、AI、ロボット等を導入・活用できるよう促進し、生産性向上、新サービス創出などを実現するために設立。企業グループでの実証事業等を支援しています。

IoT・IT人材育成研修/オーダーメイド実践研修
(公益財団法人ソフトピアジャパン)

IoT・AI・業務効率化・システム開発等の研修を行っています。オーダーメイド実践研修は、岐阜県内企業・グループや団体等からのご要望により、開催日や開催場所を決めて開催する研修です。

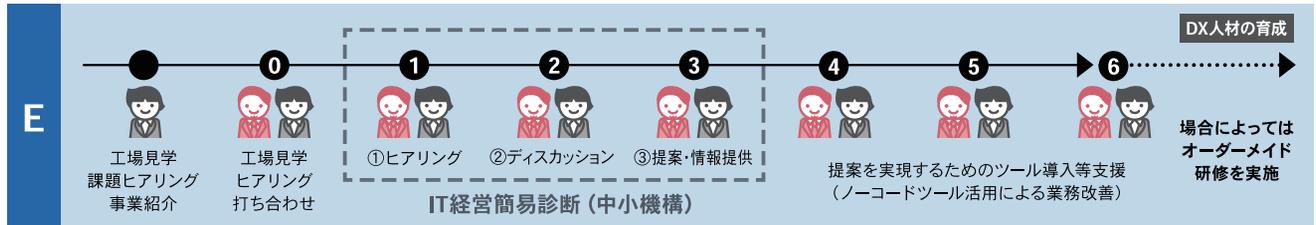
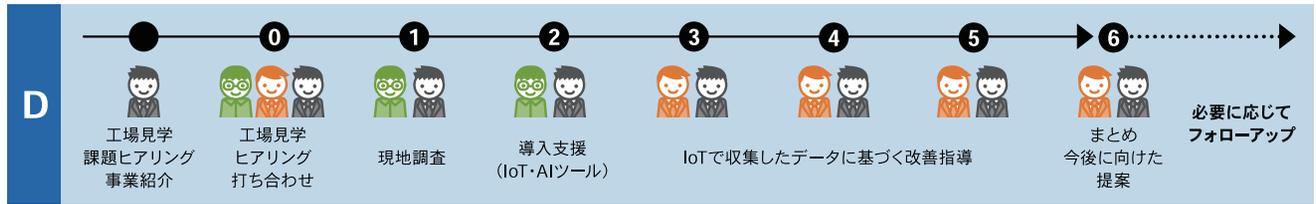
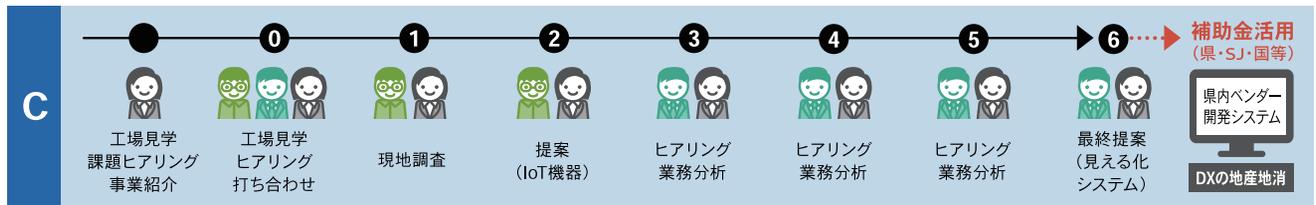
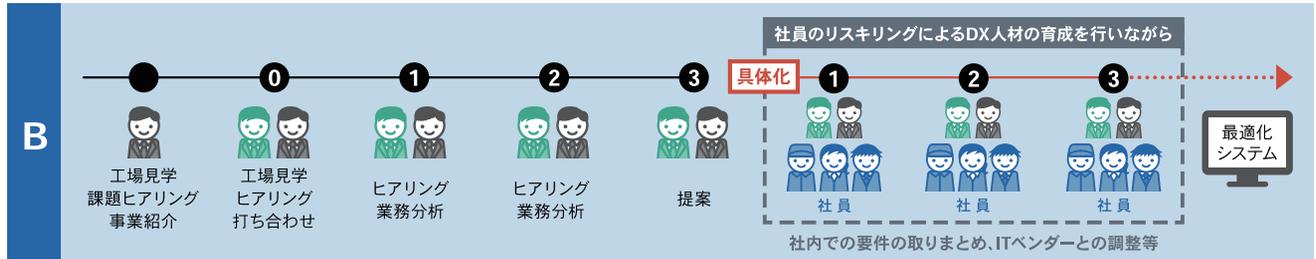
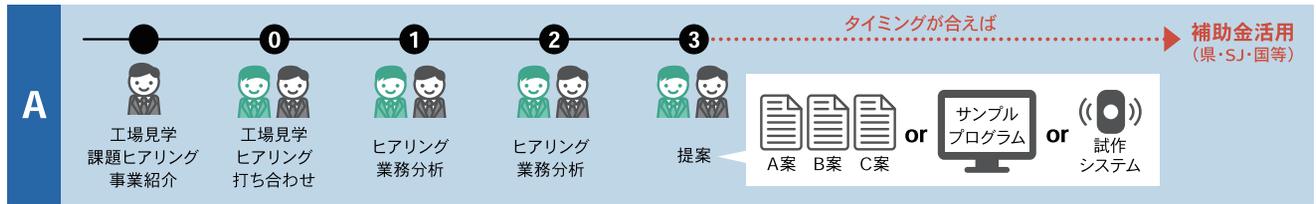
IT 経営簡易診断
(独立行政法人 中小企業基盤整備機構)

専門家との3回の面談を通して、経営課題・業務課題を全体最適の視点から整理・見える化し、IT活用可能性を無料で提案します。

ソフトピアジャパン「スマート経営アドバイザー派遣事業」等による伴走型支援の主なパターン6つ

0 = 訪問・オンライン支援のタイミングを表し中の数字は回数を示します。
※0回目はアドバイザー派遣に向けた事前打合せ

アドバイザー IT系 設備系 ものづくり系コンサル ITコーディネータ SJ職員



複数年度に渡る 伴走型支援 (以下は相談内容が「基幹システムの更新」の場合を例にしたもの)

